



一度っきりの人生を、努力し、楽しもう。

(自分は、やればできる。だからやってみる！昨日の自分を超えよう。)

■ふれあい音楽会 & 市民童謡ふれあいコンサート 11月18日(土)※準備・進行・片づけをありがとう。
スローガン『ひびかせよう 心のこもった 歌声を』 予行演習時より本番は格段に素晴らしい発表ができました。指揮者を見て、また、周りの音を確認しながら心を合わそうと意識した結果だと思います。三原ホームさんとの交流、手話での会場全員合唱、プロの方のステージなど音楽を通して幸せな一時を過ごすことができました。感謝です。



※写真の注文期間 (音楽会・5年生の自然学校)：12月4日(月)～12月8日(金)

■秋の火災予防運動 11月9日(木)～11月15日(水) 防火標語『火の用心 ことばを形に 習慣に』

火災はちょっとした油断から起こります。乾燥した寒い季節に入ります。火の取り扱いには、十分気をつけましょう。11月9日は「119番の日」でした。119番は、みんなのための緊急電話です。ルールを守って正しく使いましょう。

■第69回人権週間 12月4日(月)～12月10日(日)

「世界人権宣言」は、基本的人権及び自由を尊重し確保するために、世界の全ての人々と全ての国々々が達成すべき共通の基準として、昭和23年(1948年)12月10日の第3回国際連合総会において採択され、本年度で採択69周年を迎えます。国際連合は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定めました。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、今一度世界人権宣言の意義や人権に対する理解を深める取組を進め、全ての人々の人権が尊重される豊かで安心できる成熟した社会の実現を図っていく必要があります。

平成29年度啓発活動重点目標『みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～』 以下、強調事項です。

- ・女性の人権を守ろう ・子どもの人権を守ろう ・高齢者の人権を守ろう
- ・障害を理由とする偏見や差別をなくそう ・同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- ・アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう ・外国人の人権を尊重しよう
- ・HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見や差別をなくそう
- ・刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- ・犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう ・インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- ・北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ・ホームレスに対する偏見や差別をなくそう ・性的指向を理由とする偏見や差別をなくそう
- ・性自認を理由とする偏見や差別をなくそう ・人身取引をなくそう
- ・東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

※来年度の秋に、本校はたつの市民化推進協議会新宮ブロック人権教育実践発表会において、全クラスで道徳・人権の授業を公開します。人権教育とは、差別に負けない子を育てること。差別しなくても、人として人間として堂々と生きていける子、差別しない子を育てることです。

☆宇宙飛行士の向井千秋さんの言葉 「人の役に立つことを ～医者も宇宙飛行も使命はいつしょ～」

○父は魔法使い

小さいころは、「なぜ・なに」といって、何にでも興味をもつ子どもでした。そんな疑問に答えてくれたのは、教師でもあった父です。理科の先生でしたので、いろんな実験をして見せてくれるんです。子どもから見たら、まるで魔法使いのよう。「なぜ・なに」ということを言いたくなるような環境で育ちました。



○夢は医者、苦しんでいる人を助けたい。

大きくなったら何になる？そういうことを考え始めたのは、小学校4年生ころでしょうか。あこがれの職業はいっぱいあるんです。でも一番は、身近で病に苦しんでいる人を見てきたせいもあって、そういう人を助けたい、医者になりたいと思っていました。じゃあ、どうするか。医者を目指すにはそれなりの学校に行く必要があると思って、住んでいた群馬を出て、東京に行きました。自分より頭のいい人はたくさんいることはわかっていましたが、「医者になって人を助けるんだ」という気持ちは、自分が一番だと思って勉強しました。心臓外科医になったのも、心臓という臓器が止まったら死んでしまう、何とか治療して命をとりとめたいという気持ちが強かったんでしょうね。

(平成29年夏、向井千秋さんへのインタビュー記事)

H7年4月3日月中にて